

** 香港不動産トピックス 7月号 **

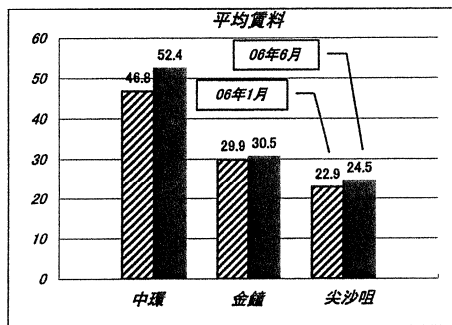
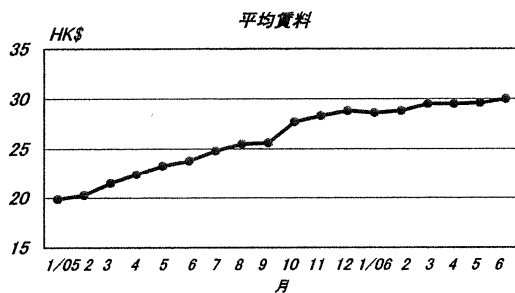
～最近の新聞・雑誌等の不動産関連記事からピックアップしてお知らせします～

【オフィスビル】

新築オフィスビルの供給が減少し、下半期には GradeA の賃料が 20% 上昇と不動産業界関係者の間で予想されています。

現在の平均賃料は HK\$52.4/sq.ft.、今年 1 月から半年の間で既に HK\$5.6 上昇しています。

***30/6/06 香港経済日報



世界で見る香港のオフィス賃料は 5 位。上位は、1 位:ロンドン(西エリア)、2 位:東京中心部、3 位:ロンドン市内、4 位:東京中心外。香港は今年の 8 位から 3 ランクアップしました。

***2/6/06 香港経済日報

【啓徳 開発】

- ・人口:86,500 人
- ・世帯数:30,500 世帯
- ・オフィスビル用地:882,500 m²
- ・宿泊施設:6,800 室

当初、埋立て案が進んでいましたが、現在ある土地を有効活用する案へ変更になりました。完成は最も早いもので 2011 年～。船着場と公団住宅が予定されています。

***22/6/06 香港経済日報

【商業物件の営業時間】

<香港サイド>

銅鑼湾の World Trade Centre が不夜城に。2008 年末完成を目途に改築工事が予定されています。HK\$2 億をかけた改築でフロアも 15 層増え、営業時間も午前 3 時まで延長されます。

***23/6/06 香港経済日報

<九龍サイド>

觀塘の APM が成功を収めたのは営業時間を延長したからだと言われています。賃貸借契約も「夜中までの営業」が条件となっています。尖沙咀でもこれまでの 22 時の閉店時間を延長、バーなどは午前 2 時まで営業をすることになりました。一方では 23 時以降はレストランやカラオケ以外の商業施設が営業時間を延長しても集客が見込めず、費用対効果が低いのでは？との声もあります。

***28/6/06 South China Morning Post

【WORLD CUP 効果】

WORLD CUP が不動産業界にも影響を及ぼしています。大会開始から不動産業者への客足が遠退きました。各社とも客の購買意欲を刺激しようと大規模な宣伝活動を行ったものの、不動産業界は閑散期であること、金利と株のマーケットが低迷していることも重なり状況は好転しませんでした。土日の案内予約も先週より 20%ダウン。6 月中旬までの売買取引数は 5 月上旬より 17%減少し、価格も 2.2%ダウン。各不動産業者は 8 月の大型新築マンションに期待をかけています。

***16/6/06 香港経済日報